

市の財産

土地や建物を所有しているほか、特定の目的や万が一のときに使える基金（預金）などを保有しています。

区 分		金額・面積
土 地		684.0万平方㍓
建 物		27.7万平方㍓
基金など	現 金	30億 108万円
	土 地	11.6万平方㍓
出資金・債権など	出資金など	1億 690万円
	債 権	4億3,464万円

市債（借金）の残高

公共施設の建設や道路の整備などにあって、国や金融機関から資金を借り入れたお金の残高です。

区 分		残 高
一般会計		206億 873万円
特別会計	学校給食事業特別会計	741万円
合 計		206億1,614万円

一時借入金の残高

一時的な資金不足により、市民への給付や納入業者への支払いに支障を生じさせないよう、金融機関から資金を借り入れた残額です。

区 分	残 高
一般会計	3億円
特別会計	0円
合 計	3億円

市民一人当たりへに換算した場合

- 一般会計
 - 収入額 45万1,118円
 - 支出額 42万2,527円
 - 負担する市税 10万3,584円
 - 一般会計+特別会計
 - 市債残高 43万7,005円
- ※人口（令和2年3月31日現在） 47,176人

財政状況の推移と今後の運営

財政運営を行う上では、収入において市の安定的な収入となる市税の占める割合が高いことが望ましいとされていますが、当市は、近年は51億円台で推移しており、市税収入に比べ、国から交付される地方交付税の占める割合が高い状況です。

また、支出のうち、公債費や人件費、扶助費（生活保護費や福祉関係の給付費などの社会保障費）は必ず支払わなければならないもので、これらが歳出の多くを占めている状況です。

特定の事業への使用や財源の調整のために積み立てている基金（預金）のうち、万が一の備えとしている財源調整用基金の残高は6・7億円で、前年度に比べ、約2億円減少しました。

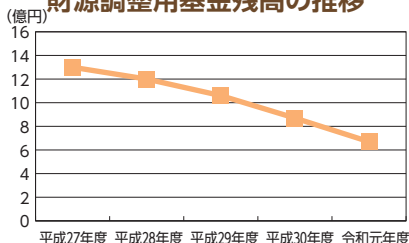
今後の人口減少などによる市税収入の減少、国の計画や財政状況などにより地方交付税が減額となったときに備え、

基金（預金）を一定程度保有しておく必要があります。

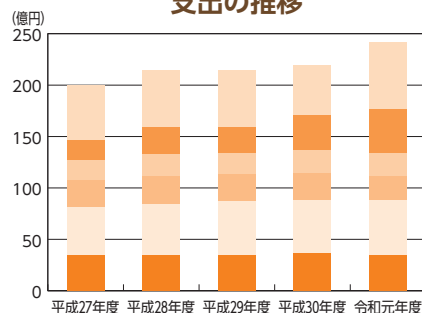
また、今般の新型コロナウイルスの感染拡大により、

入湯税をはじめとする市税の減収が予想されるほか、観光産業を中心と

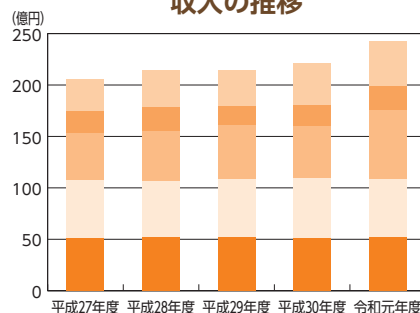
財源調整用基金残高の推移



支出の推移



収入の推移



する市内経済にも深刻な影響が生じており、今後の状況によっては、より厳しい財政運営を強いられる可能性があります。そのような状況下にあっても、安定的な市民サービスを提供するため、国の動向を注視しながら、地方交付税などの収入を確実に確保するほか、事務事業評価や予算編成などを通じて、事業の必要性、効率性について不断の見直しを行うなど、健全な財政運営に努めていきます。